

# 豊田市文化ゾーンにおける文化創造拠点及び歴史継承拠点の整備方針（概要版）

**【結論】** 文化創造拠点 ⇒ 市民文化会館の改修により整備  
 歴史継承拠点 ⇒ 総合的な博物館を豊田東高跡地に新たに整備

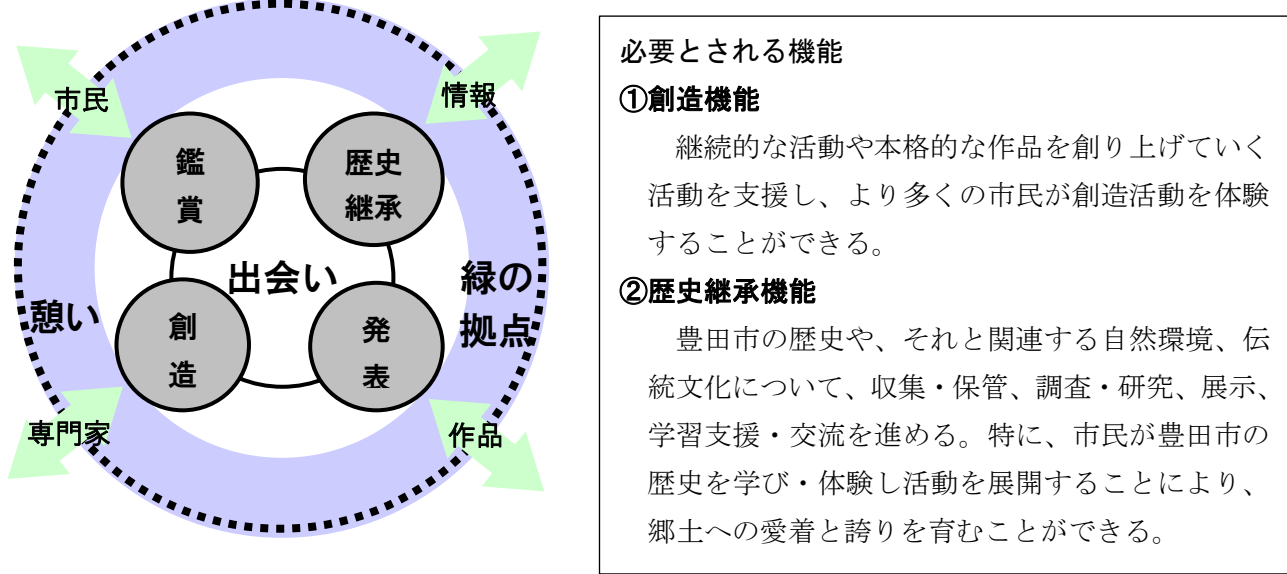
## 1 豊田市における文化創造・歴史継承の現状と課題

**〈文化創造〉**  
**現状**：ハード（施設整備や設備機能）よりソフト（事業や施設運営等の取組姿勢）に対する市民のニーズが高く、ハードについては、既存施設の稼働率等からスペースが不足している状況にはない。  
**課題**：既存施設の機能を改善（利用料金・時間など運営面の改善、既存施設や機能の拡充、既存空間の有効活用等）することにより、施設の利用向上を図り、より活発な文化活動を行えるような環境整備が必要。

**〈歴史継承〉**  
**現状**：現状の郷土資料館などでは、市民・学校などからのニーズに対して、建物・設備の老朽化と不足から、十分な文化財公開と収蔵、博学連携、市民活動を行えず、市民が郷土愛を育み、市の魅力を情報発信する役割を果たしていない。  
**課題**：市の宝である文化財を公開・収蔵する機能と共に、「ひとづくり」「まちづくり」に資する機能を充実させ、博物館にふさわしい立地においてリニューアルしていくことが必要。

## 2 文化ゾーンとは（概念図）

- 本市の文化芸術の拠点として、文化芸術に係る中枢機能の集積を図る区域
- 様々な施設や機能、サービスを一定区域に複合的に集め、文化芸術活動の活性化を図るとともに、そうした活動を通して人の輪、活動の輪がひろげられるような区域
- 文化関連施設の集積を活かし、面として文化的な潤いの感じられる都市空間の創出を図る区域



## 3 見直しに至った経緯

- 平成 22 年 3 月 豊田市文化ゾーン基本構想策定  
 文化創造拠点及び歴史継承拠点を豊田東高校跡地に一体的に整備する方針  
 （その後、急激な社会経済状況の変化により、整備を一時凍結）
- 平成 26 年 9 月 再度、幅広い意見を集約するために、豊田市生涯学習審議会に諮問  
 諮問事項「豊田市文化ゾーンにおける文化創造拠点及び歴史継承拠点の整備方針について」
- 平成 27 年 11 月 約 1 年をかけて協議し、生涯学習審議会から答申
- 平成 28 年 4 月 生涯学習審議会の答申をもとに、基本構想をベースとして 2 つの拠点の整備方針を策定

## 4 文化ゾーンのコンセプト

### 緑に包まれた歴史・文化芸術の杜

- 歴史・文化芸術の身近な体感による郷土愛の醸成  
 ＊歴史・文化芸術に関わる作品などを身近に体感することによって、郷土愛が醸成される。  
 ＊ゾーン内に点在する建造物・歴史遺産などを訪れることで、歴史や文化芸術を感じ、誇りに思うことができる。
- 歴史・文化芸術に関わる活動のダイナミックな展開  
 ＊「鑑賞」「創造」「発表」「歴史継承」する市の文化拠点施設が揃い、文化ゾーン外の文化関連施設とも連携しながら、歴史・文化芸術に関わる活動が展開されている。  
 ＊歴史・文化芸術に関わる活動を行う市民やアーティストが集まり活気があふれている。
- 歴史・文化芸術と緑の調和  
 ＊まとまった緑地の整備や、文化拠点施設および道路・街区の緑化によって、緑に囲まれて心豊かになることができる。

## 5 文化ゾーンにかかる施設配置（変更施設のみ）

配置する拠点施設	該当機能	備考
<b>○市民文化会館</b> <b>【既存施設を拡充整備】</b> ・ホール・舞台 ・展示コーナー・ギャラリー <b>【追加】</b> ・音楽・演劇・舞踊練習場 ・体験教室 ・講座室 ・情報コーナー・フリースペース	鑑賞／発表 発表	・主に文化芸術の「鑑賞」「発表」の機能を担う拠点。 ・市民が本格的な舞台芸術作品を鑑賞できる場、市民の文化芸術活動の成果発表の場。
<b>○新博物館</b> <b>【東高跡地に新規整備】</b> ・学習支援・交流施設 ・展示施設 ・収蔵庫	創造 創造 創造 出会い 歴史継承／創造 ／出会い 歴史継承／鑑賞 歴史継承	・市民や若手芸術家の文化芸術の創作活動の拠点。 ・音楽、演劇、舞踊など幅広い分野の活動が行える場として、本格的な設備を整える。さらに、子どもの創造力を高めるための文化芸術の体験の場の整備や、市民の新たな出会いを促す機能の充実を図る。 ・市民や来訪者が市域全体の歴史を学び、体験しながら活動の場を展開し、市への愛着を醸成する拠点。 ・地域資料館などと連携し、各地区へ来訪者が足を運ぶきっかけを生み出すコア施設。 ・地域の歴史や文化財の魅力を発信し、未来へ継承するために必要な機能の充実を図る。 ・地域の歴史文化の特性を活かす。

## 6 文化ゾーン基本構想の実現に向けて

- 文化ゾーン基本構想の実現に向けて、主要な課題として次の 5 つが挙げられる。
- ①豊田東高等学校跡地の利活用（新博物館整備の検討）
  - ②市民文化会館の改修による文化創造拠点の整備（既存施設の有効活用）
  - ③地域住民をはじめとする市民との共働（市民との協議の場や体制の構築）
  - ④交通ネットワーク（利便性の高いアクセス道路・公共交通、快適な歩行者空間）
  - ⑤土地利用規制（実現可能な手法の検討）